

県民だより

11

月号

編集・発行 栃木県企画部広報課

〒320-8501 宇都宮市埜田1-1-20

TEL 028-623-2192 FAX 028-623-2160

豊かなスポーツライフの実現を目指して

平成12年度の県政世論調査では、スポーツを行う理由として「楽しみや心身のリフレッシュ」を挙げた方が約半数を占めるなど、「競う」ためだけでなく「楽しむ」ためのスポーツが求められてきています。

県では、今年3月に「とちぎスポーツ振興プラン21」を策定し、県内各地域での総合型地域スポーツクラブの創設・育成を支援するほか、スポーツ・レクリエーション指導者の養成や公共スポーツ施設の整備を図るなど、スポーツがより身近な活動となるよう環境づくりを進めています。

また、幅広く県民の皆さんにスポーツ・レクリエーションに親しんでいただく機会として、今年度から「栃木県民スポーツ・レクリエーションフェスティバル」を開催しています。

いつまでも心身ともに健康で豊かな生活を送るために、皆さんも自分らしいスポーツライフを始めませんか。

レクリエーションフェスティバル in芳賀

様々なニュースポーツの交流試合が行われるほか、10種目のスポーツが自由に体験できます。お気軽にご参加ください。

- 開催日 12月2日(日)
- 会場 真岡市総合体育館ほか
- 開会式 午前9時から
- ニュースポーツ体験(自由参加) 午前10時30分～午後2時
- 体験種目 インディアカ、ビームライフル、ダーツ、チャレンジランキング、スマイルボウリング、スポーツチャンバラ、タッチラクビー、ペーパーブーメラン、フライングディスク、ベタンク



フライングディスク/プラスチックの円盤をチェーンのついたゴールへ

◇問合せ 県教育委員会保健体育課
☎028-623-3417



ベタンクに挑戦、「ボールを投げる力の加減が難しい」



カーリングに似た屋内競技カローリング。12メートル離れた的をねらいます

会長の山口さんは、「町民の方がスポーツをしたかった時、気軽に参加できるクラブです。スポーツを通して、たくさん仲間ができるし交流の輪も広がります」と、クラブの魅力を語ります。石橋町の担当者は、「健康づくりだけでなく、希薄になりつつある地域のコミュニケーションやネットワークづくりにも力を発揮してほしい」と、クラブに大きな期待を寄せます。

競うスポーツから楽しむスポーツへ

新しい ニュースポーツが

野球ボールほどの金属球が、赤い的に向かって地面を転がります。的をかすめてボールが止まると、歓声がわき起こりました。「ベタンク」は、ピュットと呼ばれる標

的球に対し、どれだけ近くへボールを投げられるかを競う南フランス生まれのスポーツ。ボールさえあればどこでも、誰にでもできる競技です。一見、単純そうに見

えますが、ゲーム性が高く、母国フランスでは自転車に次いで人気があり、日常的に親しまれています。ベタンクのほかターゲット・バードゴルフ、ソフトバレーボールなど、年齢や体力差に関係なく誰もが気軽に楽しめるスポーツは、ニュースポーツと呼ばれ、全国大会が開かれるようになるなど人気が高まりつつあります。

ニュースポーツで仲間づくり

石橋町では、県内で唯一の総合型地域スポーツクラブ、「グリムの里スポーツクラブ」が結成され、町民スポーツの振興を支えています。このクラブの特徴は、幅広い年齢層の町民が参加し、自分自身の体力などに応じて自由に、様々なスポーツを楽しめること。地域に密着した新しい形のスポーツクラブとして、全国でも注目されています。

主催者は、「勝敗や成績にとらわれず誰もが楽しめるのがニュースポーツの特徴。この機会に一人でも多くの町民がスポーツに親んでほしい」と話します。

地元の自然の恵みを みんなで食べよう!

元気です。 とちぎのしいたけ

いっぱい作っています。

本県のしいたけの生産量は3,340tで全国7位。乾しいたけの生産量は262tで全国5位を誇ります。しいたけの約7割は原木栽培、残り3割が菌床栽培。乾しいたけはすべて原木栽培によるものです。

とちぎのしいたけの多くは、本県を含む関東近県に供給されます。新鮮でおいしいとちぎのしいたけは、県内だけでなく、首都圏の人々に広く愛されています。

たべるなら、栃木産。

ご存じですか?このマーク。地元とちぎで採れた、新鮮でおいしいきのこの目印です。鮮度を見分けるコツは傘の裏にあります。ヒダが純白なものほど新鮮です。おいしさのポイントは傘の厚さ。おいしい菌ごたえをお約束します。



けんこうのために。

しいたけには、カルシウムを吸収して骨に沈着させるビタミンDや、腸をきれいにする食物繊維、抗腫瘍作用をもつレンチナン、さらにコレステロールを低下させる成分も含まれています。うま味はグアニル酸によるもので、イノシン酸(かつお節)、グルタミン酸(昆布)とともに、3大うま味成分と言われています。

和・洋・中、どんな料理にも合うので、年間を通して日々の食事に利用したいもの。調理の前に、天日にあてると栄養量が増加します。乾しいたけは、冷水で5時間ほど戻すのがおいしさのコツ。

県では、毎年「きのこ料理コンクール」を開催し、きのこ料理の普及に取り組んでいます。今年もアイデアいっぱいの料理が出品されました。



しいたけは自然の恵み。

しいたけは原木栽培と菌床栽培の2つの方法で生産されます。原木栽培ではクヌギやコナラなどに種菌を打ち込み1~2年で、菌床栽培ではオガコ(コナラなどを細かく砕いたもの)に水などを加えた菌床に菌を接種して約4か月で収穫できます。しいたけは豊かな森林資源に育まれる、



字どおり「木の子」。自然の味と香りをまるごと味わえます。

とちぎのしいたけを支えています

しいたけ生産は、輸入の増大や産地間競争により、厳しい状況にあります。こうした中、生産者は消費者の声に応えながら、よりよいしいたけづくりに取り組んでいます。

質の高い、おいしいしいたけを届けたい



山口利男さん (喜連川町 しいたけ生産者)

年間を通して、品質が高いしいたけを、まとまった量出荷することが求められています。コストを抑える工夫をしながら、温度や湿度、安全性の管理を徹底して、味でも価格でも満足してもらえたいと努力しています。競争は激しいですが、しいたけのおいしさでは負けません。愛情込めて作ったしいたけを、県民の皆さんにたくさん食べてほしいですね。

栃木産しいたけをPR消費拡大にまい進



高山新太郎さん (栃木県特用林産協会 副会長)

消費者に納得してもらえ、おいしいしいたけを作ろうと、生産者全体で真剣に取り組んでいます。一人でも多くの方に私たちが作ったしいたけを食べてもらいたいですね。料理コンクールを開催したり学校給食へ導入してもらうなど、機会を見つけては消費の拡大に努めています。また、市場で高く評価されるように、市場関係者との情報交換も大切に行っています。

技術・経営の指導で県内生産者を支援



浅井純子さん (矢板林務事務所 林業改良指導員)

生産者を訪問して、栽培技術や経営改善のアドバイスをすることが私の仕事です。生産者の皆さんは、少しでも良いものを作ろうと工夫を重ねています。現場で教わることも多いですね。質の高いしいたけを安定して生産できるように、行政としてできる限りバックアップしていきたいです。全国の消費者に「しいたけを食べるなら栃木産」と選んでもらえるようになれば、と思っています。

◇問合せ 県林業振興課 TEL 028-623-3271



ここで実感! 栃木産しいたけの実力

きのこ展示品評会

県内の選び抜かれた生・乾しいたけ、なめこ、ひらたけの展示・即売を行います。

■展示 11月28日(水) 午後1時~5時、11月29日(木) 午前9時~午後0時30分

■即売 11月29日(木) 午後0時30分~

■会場 栃木県農協会館(宇都宮市)

トピックス

住民が主役です。市町村合併

市町村合併の必要性や意義等について理解を深めていただくため、十月十四日に「市町村合併をともに考える全国リレーシンポジウム」が栃木会館で開催されました。当日は、基調講演のあと、パネルディスカッションが行われました。

パネリストの一人として参加した福田知事は、市町村合併のメリットを「多様化、高度化する行政需要に応えられる」と訴えるとともに、「あくまで住民の皆さんの合意が大切です」と語りました。



会場の参加者も加わって活発な意見交換がされました

「とちぎ特使」を全国に

県政やイメージアップに関する助言、県の魅力の普及を促すべく、「とちぎ特使」を創設しました。特使は、タレントの高木美保

さんや作家の童門冬二さんなど、各界で活躍される十七名で、任期は四年。

十月十六日には東京都内で委嘱状を交付。その後開かれた懇談会の席上、知事は「皆様方の活動の場で栃木の魅力をアピールしていただきたい」と期待を語りました。

◇問合せ 県広報課
TEL 028-623-2159



特使の皆さんから県への期待などが寄せられました

知事が中国浙江省長と初会談

県では中国浙江省と平成五年に友好提携を結び、様々な分野で友好交流を深めています。

十月二十三日、福田知事は初めて柴松岳省長を訪問しました。会談で知事は「二十一世紀幕開けの年に直接省長と会談できることは大変意義深い。今後はさらに幅広い交流に努めたい」と述べ、省長も「青少年の交流、文化、スポーツなど、幅広い交流に力を尽くしたい」とこたえました。知事は翌二十四日、浙江大学や杭州経済

技術開発区などを視察しました。

◇問合せ 県国際交流課
TEL 028-623-2163



友好交流のさらなる推進を確認しました

モバイル版ホームページを開設しました

携帯電話などから県政情報を見ることができるよう、モバイル版ホームページを開設しました。身近な県政情報はもちろん、相談窓口や県の機関・市町村の案内など、電話帳として活用することもできます。また、県内観光地など、外出時に役立つ情報のほか、緊急時に役立つ防災情報も掲載しています。

インターネットに接続できる携帯電話にアドレス（欄外参照）を入力していただければ、すぐにアクセスできますので、ぜひご活用下さい。

◇問合せ 県広報課
TEL 028-623-2159



国会等移転 Q&A

皆さまからお寄せいただいた質問にお答えします

Q) どうして、東京から国会等（首都機能）を移転させるの？

A) 国会等の移転の必要性は

- 国政全般の改革の促進
(地方分権・規制緩和などの改革を進めるために)
- 東京一極集中の是正
(日本全体をバランス良く発展させるために)
- 災害対応力の強化
(国の災害に対する備えを強化するために)

という3つの点です。

この中でも特に、阪神・淡路大震災の教訓から、国の災害対応力の強化は重要な課題です。

東京を含む南関東は、地震発生の可能性が高いといわれています。仮に、一極集中した東京で災害が発生し、国の中枢機能が麻痺することになれば、速やかな復興支援が困難なばかりではなく、国内、さらには国外にも大きな影響をもたらすこととなるでしょう。ですから、国会等を移転し、政治・行政の中枢機能と経済・文化機能との同時被災を回避することにより国の危機管理体制を強化することが、緊急を要する重要な課題といえるのです。

◇問合せ 県企画調整課 国会等移転対策室 ☎028-623-2209

南関東における地震の歴史

西暦	地震名(マグニチュード)
1703年	元禄関東地震(約8)
1782年	天明小田原地震(7.3)
1855年	安政江戸地震(6.9)
1923年	関東大震災(7.9)

ふるさと便り

栃木市制65周年記念 とちぎ秋まつり

市制六十五周年を迎えた栃木市では、今年、五年ぶりに「とちぎ秋まつり」が行われます。見どころは、江戸末期から明治初期に造られた「人形山車」。見事な彫刻や、金糸銀糸の刺繍がほどこされた天照大神、神武天皇、静御前などの人形の衣装

は絢爛豪華なもので、「動く芸術品」と呼ぶにふさわしいものです。十一月十六日(金)から三日間、九基一対の「人形山車」が蔵の街大通りを練り歩きます。今年後半世紀ぶりに仁徳天皇山車が巡行するほか、十七日(土)と十八日(日)には三国志の英雄、劉備・関羽・張飛の人形が百八十年ぶりに勢揃いします。



天照大神の「人形山車」(16日に巡行)

◇期日 11月16日(金)～18日(日)
◇山車勢揃いは各日とも午後2時
◇場所 栃木市蔵の街大通り
◇交通 JR両毛線・東武日光線 栃木駅下車徒歩
◇当日は交通規制にご注意ください
◇問合せ 栃木市商工観光課 ☎0282-22-3535

県の広報番組 とちぎテレビ

◎県広報課 ☎028-623-2190

クローズアップ とちぎ

毎週土曜日 9:00～9:30
(再)月曜日 22:00～22:30

- 11月17日 環境にやさしい農業の推進
- 24日 年末年始の事件事故防止
- 12月1日 山を守る間伐事業
- 8日 広聴事業
- 15日 NPO・ボランティア活動

ローアワー

毎週日曜日 18:05～18:30
(再)月曜日 12:05～12:30

- 11月18日 ふるさと栃木フェア2001
- 25日 道の駅続々オープン!
- 12月2日 Jr.知事さんほか
- 9日 とちぎのしいたけ

とちぎ情報局

毎週木曜日 22:00～22:45
(再)日曜日 8:30～9:15

- 11月15日 冒険仲間放課後教室(宇都宮)
- 22日 杉に寄り添う想い(今市)
- 29日 スケートの街(日光)
- 12月6日 青い目の陶芸家たち(益子)
- 13日 夫婦で作る座敷帯(都賀)

「とちぎ情報局」イメージソング募集中!

- 「街」をテーマに唄を作ってください。
- 応募はカセットテープ、CD、MDで。
- 応募締切 平成14年1月31日(木)消印有効
- 問合せ とちぎテレビ ☎028-623-0031
<http://www.tochigi-tv.co.jp>

マロニエ ガイト



花 歳 時 記

ナナカマド (バラ科)

冬の始まりを感じさせるさびしい景色の中に、そっと置かれた宝石のような赤い実。初夏に咲く小さな白花が、こんなに見事な果実に成長します。名前の由来は「7度かまどにくべても燃えないから」と言われています。

ウォッチングポイント

県北西部の山岳地帯に多く自生し、奥鬼怒林道周辺では手軽に観察することも可能です。見頃は11月下旬まで。

県子ども総合科学館

宇都宮市西川町567 ☎028-659-5555

- 科学技術コンクール「チャレンジ・トゥ・ザ・リミット」高校生部門 ●11月18日(日)午前9時30分～ ●観覧自由 ●県内の高校生が自慢の自作車両を操作して、白熱した試合を繰り広げます
- 天体観望会 ●11月18日(日)午後7時～9時 ●しし座流星群、火星、アンドロメダ銀河 ●大型望遠鏡で宇宙の神秘にふれてみませんか
- バラエティーサイエンス ●11月24日(土)・25日(日) ①午前10時30分 ②午後1時30分 ③午後3時30分 ●簡単でたのしい工作や実験を行います

県立美術館

宇都宮市桜4-2-7 ☎028-621-3566

- 奔る女たち—女性画家の戦前・戦後 1930年—1950年代 ●12月9日(日)まで ●昭和初期から戦後に至るまでの女性作家の油絵、日本画、写真などを紹介 ●ギャラリートーク ●11月23日(金)午後2時～ ●学芸員による鑑賞案内



目黒雅叙園美術館

梶原耕子「静閑」(1938年)

県立博物館

宇都宮市睦町2-2 ☎028-634-1312

- 特別企画展「田中正造とその時代—天皇直訴100周年—」 ●12月16日(日)まで ●展示解説 ●11月23日(金) ●電話申込み ●体験学習「石ウスと火起こしに挑戦」 ●12月9日(日) ●電話申込み ●テーマ展「おじいさんやおばあさんの子供のころの暮らし」 ●開催中

オオロンと鉢



湯たんぼ



県総合文化センター

宇都宮市本町1-8 ☎028-643-1010

- 宗次郎コンサート～静かな地球の上で ●11月30日(金)午後6時30分開演 ●新進音楽家演奏会第6回コンเสิร์ต・マロニエ21(本選・特別演奏・表彰式) ●12月9日(日)午後1時開演

(特別演奏/第5回 最優秀賞受賞者)



声楽部門 小貫若夫さん

弦楽器部門 田口美里さん

お知らせ

Information

催し

- 人権同和問題講演会 ●11月29日(木)午後1時～4時 ●場所 県総合文化センター(宇都宮市) ●内容 講演「日本人と人権～人権を意識した行動とは」(ケント・ギルバート氏(弁護士)ほか) ●参加無料 ●問合せ 県人権同和对策課 ☎028-623-3026

- 県立少年自然の家・青年の家の催し 【今市少年自然の家 ☎0288-21-7224】 ●ちよびりはいクリスマス ●12月8日(土)～9日(日)1泊2日 ●内容 サンタさんと遊ぼう、ミニ門松作り、もちつきなど ●対象 小・中学生とその家族 ●定員 80名 ●参加費 中学生以上4,000円ほか ●申込締切 11月24日(土)必着 【太平少年自然の家 ☎0282-24-8551】

- ◎さがそう夢・つくろうお正月 ●12月8日(土)～9日(日)1泊2日 ●内容 門松作り、スターウォッチング、そば打ち体験 ●対象 小・中学生とその家族 ●定員 50名 ●参加費 大人4,000円、小・中学生3,500円 ●申込締切 11月30日(金)必着 【唐沢青年の家 ☎0283-22-2543】

- ◎そば打ち教室 ●12月1・8・15・22日(いずれも土) ●内容 そばに関する講話とそば打ち実習 ●対象 4回継続受講できる方 ●定員 24名 ●参加費 各回1,500円 ●申込締切 11月24日(土)必着

試験

- 理容師試験及び美容師試験 ●理容師実技試験 ●平成14年1月28日(月)～ ●会場 作新理容美容専門学校 ●美容師実技試験 平成14年2月4日(月)～ ●会場 栃木県美容専門学校 ●理容師・美容師筆記試験 平成14年3月3日(日) ●願書受付期間 12月17日(月)～21日(金) ●問合せ (財)理容師美容師試験研修センター-栃木県支部 ☎028-625-2660

案内

- 福祉のしごと移動相談会 ●11月17日(土)午前10時30分～午後3時(受付終了午後2時30分) ●会場 今市市保健福祉センター(今市市平ヶ崎) ●福祉の仕事に就きたい方に福祉職の紹介・あつせん、求人状況、資格取得、学校案内などの情報提供・相談を行います ●相談無料 ●問合せ 栃木県福祉人材・研修センター ☎028-643-5622

- AIDS(エイズ)電話相談のお知らせ ●世界エイズデー(12月1日)にちなみ36時間連続でAIDS電話相談を実施します。AIDSについての悩みごとなどお気軽にご相談ください ●相談電話 ☎028-600-5855 ●日時 12月1日(土)午前10時～2日(日)午後10時 ●問合せ 県健康増進課 ☎028-623-3086

- 健康づくり相談会のお知らせ ●12月1日(土)午後2時～4時 ●場所 とちぎ健康の森健康づくりセンター ●内容 寒い季節にも安全に運動するための医師による講話と健康

- 運動指導士による運動実践指導 ●定員 30名 ●電話申込み(先着順) ●問合せ 同センター ☎028-623-5194

- 11月は、個人事業税の納期です ●お手元に送付された納付書により、11月30日(金)までにお近くの金融機関、県税事務所まで納めてください ●問合せ 県税務課 ☎028-623-2108

- 建設業の皆さんへ ●解体工事業の登録は今月末までに ●建設リサイクル法に伴い、解体工事業を営む方は、解体工事を行う区域の都道府県への登録が必要です(建設業の土木、建築、とび・土木工事業の許可を受けている方は除く) ●登録は11月30日(金)までに必ず行ってください。 ●競争入札(建設工事)参加資格審査申請の追加受付を行います ●資格の有効期間 平成14年4月1日～15年3月31日 ●受付期間 12月3日(月)～17日(月)消印有効 ●申請書は県建設業協会配布します。また、県ホームページからもダウンロードできます ●問合せ 県監理課 ☎028-623-2390

県民の皆さまへ

安全な牛肉をお届けします

県では、『牛海綿状脳症防疫対策本部』を設置し、国等と連携を図りながら、安全な牛肉を供給するために全庁を挙げて牛海綿状脳症(BSE)狂牛病防疫対策に取り組んでいます。

十月十八日には、BSE判定のための厳重な検査体制が確立しました。世界中で最も厳しい検査をクリアした牛肉だけが市場に流通しますので、県産牛肉を安心して食べていただけます。

県のBSE対策

- 一、生産農家におけるBSE監視の徹底
県家畜保健衛生所の職員(獣医師)と開業獣医師が生産農家を個別に巡回し、飼養牛のBSEに対する監視や指導を徹底しています。

二、食肉衛生検査体制の強化

生産農家からと畜場に出荷されたすべての牛は、と畜検査員(獣医師)が生体検査を行い、健康状況を確認しています。健康な牛だけが流通するよう、すべての牛についてBSEにかかっているかどうかのエイライザ検査を行っています。

※エイライザ検査

BSEの原因である「異常プリオン」を発見するための検査です。この検査は、個々の牛の「えん髓の一部」を用いて行われます。反応が非常に敏感なため、正常な牛が疑陽性と判定されることはありませんが、BSEの牛は絶対に見逃しません。

なお、エイライザ検査でBSEが疑われる場合は、さらに精密な確認検査を行い、安全性を確認します。

また、エイライザ検査の結果は、速やかに公表するなど県民の皆さまに正確な情報を提供しています。

三、安全性確保のための万全の措置

エイライザ検査で疑陽性になった牛のすべての部位は、安全性が確認されるまで絶対に市場には出まわりません。また、BSEの原因となりうる危険な四部位(牛の脳、眼、せき髄、小腸の一部)はすべて焼却処分されています。

BSEに関する問合せ

- 消費者相談窓口
文化振興課 ☎028(623)2134
消費生活センター ☎028(665)7744
- 中小企業の相談窓口
商工振興課 ☎028(623)3169

- 農業全般の相談窓口
農政課 ☎028(623)2284
- BSEに関する助成・融資(生産農家等)について
畜産振興課 ☎028(623)2344
- 食肉の処理や検査について
環境衛生課 ☎028(623)3109

県ホームページから牛海綿状脳症(BSE)の関連情報をご覧いただけます。(アドレスは欄外参照)

- 栃木県牛海綿状脳症防疫対策本部
☎028(623)2344